

2025 年度「e-Project@kyokyo」の企画にあたっての参考事項

◎応募テーマについて

◇自由テーマ枠の企画例

- ・地域の方々と連携して行うもの
- ・教員養成に関係した勉強会や講演会などのイベント
- ・京都、伏見という場所に関連するもの
- ・手作りの教材開発

etc…

◇SDG s 枠の概要

SDG s とは…Sustainable(持続可能な)Development(開発)Goals(目標)の略称で、国連で採択された 17 の目標と、その中の 169 のターゲットのこと。

国際社会共通の目標として掲げられているこの 17 の目標を、達成することにつながる取り組みが応募要件です。目標を直接達成することが目的である必要はありません。身近なことから始めてみましょう。詳しくは「SDG s」で検索してみてください。取り組み事例等も見つかるはずです。

また、国際交流に関するものへの応募・活動は本学の国際交流活動認定制度の評価ポイント付与対象です。

◇2024 年度の採択プロジェクト

- ・帰国渡日児童生徒つながる会（SDG s 枠）
- ・STUDY ONE～中学生の学習支援～（SDG s 枠）
- ・♪どれみふぁそったくん♪～子どものためのアウトリーチ～（自由テーマ枠）【最優秀賞】【そったくん賞】
- ・プロジェクト NUDGE ー京都のオーバーツーリズムに挑むー（SDG s 枠）
- ・京教で染めよう！（自由テーマ枠）
- ・プロジェクト アイ・C・T（SDG s 枠）【新プロジェクト賞】
- ・Hand in Hand ～子どもたちに夢を運ぼう～（SDG s 枠）

過去のプロジェクトの報告書を本学ホームページ（トップページ＞キャンパスライフ（教務・学生生活情報）＞学生生活情報＞e-Project@kyokyo）に掲載しているので、参考にしてください

◎奨励金について～こんな奨励をしました～

◇物品の購入について

サインペンやホワイトボード、模造紙など活動で使用する物品の奨励をしました。

- ・物品は、学生課で調達し現物支給します。
- ・飲食費などの奨励はできません。
- ・調達した物品のうち、消耗品にあたらない物品は、プロジェクトの研究期間中のみ貸与することになり、研究終了後は学生課に返却してもらいます。

◇書籍の購入について

研究に必要な書籍を購入しました。

- ・書籍は研究期間中のみ貸与となり、研究終了後は附属図書館で配架されます。

◇交通費、運搬費奨励について

演奏会実施のための交通費及び楽器運搬費を奨励しました。

- ・研究のために視察や現地調査が必要な場合、交通費や入場料として奨励金を使うことができます。
- ・申請のあった経路等については大学の規定を参考にその都度学生課でチェックしますので、希望通りの経路で実施できない場合があります。

◇謝礼金の奨励について

視察を受け入れてくださった法人へ謝礼金（謝金）を支払いました。

- ・講演を依頼した講師や演奏会協力者への謝金等を支給することができます。謝金の支給は大学の定める基準の範囲内で行う必要がありますので、謝金の使用を考えている場合は学生課へ相談してください。

◇印刷物について

イベント広報用のチラシを作成しました。また、案内状の送付も経費から奨励しています。

- ・学内のコピー機・学生自治会所有の印刷機を経費から利用することができます。
- ・ポスターのような大判印刷・カラー印刷・紙質を指定してのチラシ印刷も、業者へ依頼できます。

◇物品購入等による奨励の他にも、講演会を行うために講義室を使用したり、イベントの宣伝のために学内に掲示物を貼ることができます。